

Press Release (R2/11/2)

日本学術会議中部地区会議学術講演会

「コロナ禍・豪雨災害：自然災害に向き合う」を開催します。

このたび、東海国立大学機構岐阜大学は、日本学術会議中部地区会議と共催で下記のとおり学術講演会を開催します。

日本学術会議は、わが国の科学者の内外に対する代表機関として昭和24年に設立され、科学の向上発達を図り、行政、産業及び国民生活に科学を反映浸透させることを目的としています。また、地域の科学者と意思疎通を図るとともに学術の振興に寄与することを目的として、全国で7つの地区を組織しており、中部地区会議は、富山、石川、福井、長野、岐阜、静岡、愛知、三重で構成されています。本学術講演会は、中部地区会議が実施する地域に密着した学術活動事業の一環として開催されます。

岐阜大学は、教育の基盤としての質の高い研究活動をそれぞれの分野で着実に実践しています。本講演会「コロナ禍・豪雨災害：自然災害に向き合う」において、本学の研究者が、その学術研究の成果を市民の方々にお伝えし、自然災害との向き合い方について、コロナ禍や豪雨災害を例に、自然科学、社会科学、行動科学の観点からともに考えたいと思います。

つきましては、本講演会の貴社の情報コーナー等への掲載と当日の取材について、よろしくお取り計らい願います。

日本学術会議中部地区会議「学術講演会」

～「コロナ禍・豪雨災害：自然災害に向き合う」～

日 時 : 令和2年11月20日(金) 13:00～16:00
会 場 : オンライン開催 (Zoom ウェビナー)
対 象 者 : 市民一般

(※詳細は添付ポスターをご覧ください。)

【問合せ先】

岐阜大学研究推進部研究企画課研究総括係
TEL : 058-293-3344・3354
E-mail : gjai04010@jim.gifu-u.ac.jp